



西岡恵子 議員

## 学力低下

学力偏重・詰め込み教育

の反省から1996年中央教育審議会答申で「ゆとり教育」が提言され、学校週5日制の導入により子供達を学校から解放。家庭・地域の多くのふれあいの中で個性を伸ばし、豊かな心を育む「ゆとり教育」を実施。更に生きる力・考える力を身につけさせようと子供自身がつける「総合学習」が導入されている。一方、2002年施行の新指導要領では、学力低下は日本教育の最重要課題とされていたが、先日のOECD（経済協力開発機構）調査では日本の学力低下とあった。本の現状、今後の対応は。朝の読書の更なる推進、土・日曜日の受け皿、特に

土曜日の対応の検討、更に教育環境の整備（教員の人材確保）など具体的取り組みについてはいかがか。

## 今後基礎学力の向上に努力

朝の読書効果については、単なる読解力の向上のみならず、子供の集中力が増したと認識している。

土曜日の子供の受け皿不足については、今後検討していきたい。教育環境の整備については、昨年度から小・中学校にて基礎学力定着化プロジェクト事業などを国・県から指定を受けて、実施中。

## 登下校の安全対策

奈良県において、女兒が

下校時に連れ去られ殺害されるという不幸な事件が発生した。子供をもつ本町の保護者の不安も同じ、登下校時の安全対策は十分か。関係者の連携・協力体制はとれているか。下校時の防犯対策として早急な街灯の一斉点検を願う。

## 地域との連携を図る

家庭や地域社会の協力や関係機関との連携強化を図りたい。

## 児童福祉

平成12年11月20日に児童虐待防止法が施行されたが、

全国どこかで児童虐待事件があり、幼い尊い命が奪われている。本町の実態はいかがか。この法律は、地方公共団体の責務や早期発見・通告の義務も示されている。関係機関との連携で対応を十分して頂きたい。

子育てによるストレスから虐待をするケースもあると聞くが、子育て支援対策は十分か。

## 子育てを地域で支援できるように取り組む

本町の本年度の児童虐待件数は、10月末現在で12件。虐待の早期発見・適切な対応には、関係機関の連携が必要。

子育て支援対策としては一時預かり、学童保育、子育て相談など各種乳幼児施策を実施している。

## 藍住町環境リサイクルセンター

10月28日の地元説明会は理事者側からの説明する十分な機会を得ないまま、住民からの白紙撤回で会を終えている。行財政改革の真



不審者対策訓練（藍住西小学校）

つ只中、町民に対してはごみ減量化への啓蒙・啓発が必要であると共に、廃プラスチックの処理経費についても検討の必要があると考える。来年度からは粗大ごみの有料化が実施される。住民への周知徹底を願う。

## 処理費の削減に努める

補助金の廃止で、施設の規模や処理能力の再検討が必要と考える。

## 西クリーンステーションの稼働時間

地元説明会で住民より西クリーンステーションが夜中の1〜2時まで稼働しているとのことだが、早く終えることはできないものか。

## 処理しきれず稼働

炉の整備や大量のごみがピットの中で処理しきれず、1時までの稼働はあった。今後、そのようなことのないように努めたい。

## 防災

今年台風の影響が相次ぎ、本町では人的被害はなかったものの、農作物には多大な影響があった。特に台風23号においては近年例を見ない降雨量で、町内至る所で浸水被害を受けた。対策本部を設置し、対応したようだが、これらの教訓を今後どう生かすのか。今回の浸水地域に対し、町道の高さの検討、側溝の検証、更に将来の宅地化に対する業者への周知・指導が必要と考える。

## 被害状況を今後の防災体制に生かす

町道の高さは今後の状況を見て検討したい。宅地造成では、できる範囲で指導をしたい。